



すぎ たに いく お
杉 谷 育 生

しん わ かい
津 和 会

いじめを未然に防止するための指導を

問 津市いじめ問題対策連絡協議会条例、津市いじめ対策会議条例及び津市いじめ調査委員会条例の制定に係る議案については特段問題はないが、いじめが起らないよう未然に防止する指導が一番大事であると考えている。

津市いじめ防止基本方針の中ではどのように考えているのか。

また、教職員の児童に対する行き過ぎた指導がいじめになっていないのか。

答 津市いじめ防止基本方針は、いじめの防止、早期発見、いじめが起きた場合の対処を3つの柱として位置付けている。いじめ防止と早期発見は特に重要であることから、校内に組織を設け、各学校単位でいじめ防止基本方針を策定し対応しようとしているところである。これにより、より早くいじめにつながる要素を掴むとともに、生徒指導上の教育技術についても連携が図れるものと考えている。

また、教職員の行き過ぎた指導により児童がいじめと感じるようなことは、断じてあってはならない。今回校内に設置する組織でこのような情報も共有し、客観的な判断ができる教育委員会事務局に一刻も早く情報が伝わるよう、色々と工夫を重ねていきたいと考えている。

●その他の質疑・質問●

- 幼稚園離れに対する対策を
- 市民の生命財産を守る緊急車両の通行可能な道路整備を早急に
- 農林事業の国・県補助事業における地元負担率の軽減を
- 市道の路面表示等による安全対策の実施を
- 自治会からの防犯灯設置要望箇所について、要望どおり応えられているのか など



▲緊急車両が通れるよう、狭小道路の拡幅整備を



か とう み え こ
加藤 美江子

こうめいとう ぎいんだん
公明党議員団

「認知症初期集中支援チーム」の早期設置を

問 津市の65歳以上の人口は平成26年3月末で75,394人であり、市全体の26.5%を占めている。その内、日常的介護が必要な認知症高齢者が8,577人である。

この現状から、認知症が疑われる人や認知症の人、またその家族に対する初期の支援を包括的、集中的に行う看護師、介護福祉士、作業療法士などからなる「認知症初期集中支援チーム」の設置を早急に検討すべきだが。

答 現在、津市において「認知症初期集中支援チーム」は設置していない。この事業は、平成25年度に国のモデル事業として全国で14の自治体を実施しているが、三重県内では実施されていない状況である。

今後、地域包括ケアシステムを構築していく中で、地域包括支援センターに認知症支援の機能を位置付けていきたいと考えている。

平成27年4月以降の介護保険制度の改正により、介護や医療等を取り巻く環境が大きく様変わりしていく中で、地域包括支援センターの機能についても、種々見直す部分が出てくることから、その中で、当該支援チームの機能に関して検討し、対応していきたい。

●その他の質疑・質問●

- 地域包括ケアシステム構築
 - ・認知症支援推進員の配置
 - ・在宅医療・介護連携について
 - ・地域ケア会議について
 - ・「生活・介護サポーター事業」の進捗状況
- 子育て支援に関すること
 - ・平成26年度幼稚園就園奨励事業
 - ・学校給食センターの管理
- ボートレース場の施設整備について など



▲「認知症初期集中支援チーム」の設置に向けた取り組みを